

6年 古典演習（言語文化） 単位数：2単位

教科書：大修館書店「古典B 古文編」「古典B 漢文編」

副教材：東京書籍「新精選 古典文法 改訂版」尚文出版「新明説漢文」浜島書店「常用国語便覧 増補版」

尚文出版「古典 共通テスト対策完答24」数研出版「国公立二次過去問選 古典編」

いっずな書店「みるみる覚える古文単語」

学習目標

本校の国語科の目標

- ①国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- ③国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

第6学年の目標

- ①自学（自ら学習）できる力をつける。
- ②古典に関する語彙力を身に付け、古典の文章における独特な世界観に対する理解を深める。
- ③大学入試問題の実践を通じ、論理的な説明力・記述力を身に付ける。
- ④知識・文法力を身に付ける。

学習方法

- (1) 演習問題を解く。
- (2) 自分の解答とその根拠を考える。
- (3) 解説を聞きながら、教員の発問に答える。
- (4) 学んだ内容について復習する。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点① 話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。				
観点② 書くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、目的に応じ、筋道を立てて適切に文を書くことができています。				
観点③ 読むこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。				
観点④ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語や伝統的な言語文化への関心を深め、国語および伝統的な言語文化を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしている。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	授業状況観察	○	○	○	○
	課題などへの取り組みと提出状況		◎		◎
	小テスト（実践問題など）		○		
	定期テスト、課題テストなど	◎	◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	○ 助動詞・助詞の用法を理解し、正しく識別することができる。 ○ 敬語から主語や目的語を正しく読み取ることができる。 ○ 和歌の修辞を理解することができる。 ○ 漢文の構造を理解し、精読することができる。 ○ 句形・用字について理解することができる。	問題演習。(共通テストや各大学の過去問や副教材の演習問題を扱う。)	
2 学 期	○ 実践的な演習問題に慣れるとともに、問いに対して的確に解答を導くことができる。	問題演習。(共通テストや各大学の過去問や副教材の演習問題を扱う。)	
3 学 期	○ 実践的な演習問題に慣れるとともに、問いに対して的確に解答を導くことができる。	問題演習。(共通テストや各大学の過去問や副教材の演習問題を扱う。)	

学習のアドバイス

古文の学習においては、語彙や文法をはじめとする基礎を徹底的に固めることが重要です。強固な基礎力なくして、有用な読解力は見につきません。これは漢文も同様です。共通テストは顕著ですが、二次試験においても奇問・難問が出ることは多くありませんし、例年問われる文法や句形も決まっています。また、常に主語・述語・目的語を意識して読むことも重要です。